

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 野村義雄  
幹事 深見章  
会報委員長 北野寿三郎

No. 29

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE  
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束—平和に献身  
1987~88年度 R I会長 チャールズ・C.ケラー

### 第273回例会 昭和63年2月9日(火) 晴

- ◇ “我等の生業”
- ◇ 出席報告  
会員 55(54)名 出席 35名  
出席率 64.81 %  
前回 2月4日 (修正出席率) 100 %
- ◇ ビジター紹介 8名
- ◇ お誕生日祝福  
江崎夫人(2/7)
- ◇ ニコボックス  
紙面の都合次回に載せさせていただきます。
- ◇ 深見幹事報告
  1. 1988~89年度全国会員名簿を注文される方は、事務局まで御連絡下さい。(3,800円)
  2. ロータリーの友2月号が来て居りますので、お帰りにお持ち下さい。
- ◇ 知多R C 認証状伝達のご案内  
常滑ロータリークラブをスポンサークラブとし、3月6日(日)14時より知多市勤労文化会館にて開催致します。御家族お揃いにて多数ご参加頂きますようお願い申し上げます。
- ◇ 野村会長挨拶  
本日はプラスチックのことについてお話を致します。円高、ドル安でどうなるのかと心配された昭和62年も、しめてみれば好況で終わった様で、プラスチック原料の生産は初めて1,000万屯を超えました。日本のプラスチック産業は戦後急成長して参りましたが、石油化学の勃興と共にそのテンポを早め、今や米国に次いで世界第二位の生産量を誇る迄になりました。プラスチックは金属、繊維、木材、紙、ゴム、皮革等々の分野で之らにおき代り、次には代替分野から独自の分野を開いて成長して来たわけです。  
プラスチック原料は概して軽く、比重一以下が多いので、仮に鉄八屯を要する製品をプラスチックで作れば一屯ですみます。(機能面は別として)

従って1,000万屯の生産と云うことは、相当な社会的効用と云えると思いますが、沢山生産使用されれば、又沢山ゴミが出るという事になります。プラスチックは軽くて丈夫で、耐酸、耐アルカリ性を有し、耐候性、耐溶性に優れている。

不要になって捨てても腐らない、燃やせば高熱を発生し、黒煙をあげ刺激臭を出す。自然のリサイクルの波に乗らない。

プラスチック産業が盛大になるにつれ、プラスチックゴミ公害が叫ばれ出し、官民一体となって、諸対策が打たれて来ました。

ゴミは排出源の違いによって、一般廃棄物と産業廃棄物とに分かれ、前者は市町村に管理責任があり、後者は事業者が責任を持って処理せねばなりません。

一般廃棄物は家庭から出るゴミ等を言い、年間約4,800万屯、1人1日平均1疋弱を捨てているわけで、市町村では焼却により、1,600万屯位に減らして埋立てに回している。一般廃棄物中のプラスチックゴミは8~12%程度で、樹脂別にはポリエチレンとポリプロピレンで59%、ポリスチレン25%、塩化ビニール系13%程度とのことです。

ここで問題は焼却炉の寿命です。塩化ビニール系のゴミは燃焼時、塩酸を発生し炉を腐蝕させ、その他のプラスチックゴミも高熱のため炉壁を傷め、炉の寿命を縮めるわけです。この解決の為、プラスチック業界は、技術と資金を投入し、市町村の協力を得て長期間研究した結果、立派な焼却炉が出来、温水利用の他火力発電を行う迄になっています。

次に産業廃棄物についてですが、排出量は年間2億9,000万屯と推定されますが年々増加傾向にあり埋立地が不足してきています。

この中でプラスチックゴミは年間160万屯と推定されますが、再生ペレットにされた

り、杭、板などに再生利用されるものが50-60万屯程度あります。

プラスチック産業発展の裏側には、そのゴミ処理との長い戦いがあり、之から先も続くであろうと思います。

◇講 演

“歴代会長雑談”

会員 加藤 大豊 君



先日は西村和尚さんの松林寺で節分の例会大変御世話になりました。お蔭で良い厄払いが出来ました。

今日は歴代会長の卓話当番と云うことで2年7ヶ月振りにこの壇上に上らせて頂きました。会長、幹事に就任致します時にはどなたでも少しはロータリーの関係書などにも目を通しますが、任期満了と共に記憶が薄れてしまったと申し上げるのが正直なところであります。その年度の会長のキャラクターに合わせたやり方で結構ではないかと思ひますし、それが一年任期の良さではないかと存じます。吉川英治さんが人生は旅である。しかも行きはあるが帰りのない片道切符の旅であると味わい深い言葉を残しておられますが、私達の年代になり、それぞれの人生、違った道を歩いて来た者が親しい友を得ることが出来た喜びは、ロータリー入会のお蔭であり、なによりのメリットだと存じます。田中ガバナーは会員増強を強く望んでおられ、昨年(第276地区)は全国平均を下廻るとの事でありました。ちなみに私共のクラブは昨年は四名減少致しており、二・三紹介された方があるやに聞きましたが否決になったとか、大変残念な結果であります。市内15クラブの中で現在最底の会員数で、会員増強は急務ではないかと存じます。

今迄、色々な先輩の方からロータリーに付いてのお話なども聞きましたが、森ポストガバナーが当クラブの講演で(ロータリーはゆとりであり遊びであると)言われた。ロータリーは皆職業が違い競争意識もありません。議論を闘わせる必要はない。忙しい仕事の合間を抜け出してきてホットする。そこには何の掛引もない、そのゆとりがロータリーであり、このようにエンジョイしながら我々は奉仕を行うわけですが、思い上らず我々のエネルギーを過信しないまでも何かしなければならぬのは確かです。当クラブもゆとりのあるクラブに育って欲しいと言われました。誠にとうを得たお説でありまして今でも一番印象に深い言葉として残っております。

さて此の2月13日よりカナダカルガリーで冬季オリンピックが開催されます。夏季オリ

ンピックが9月17日よりソウルで世界約160ヶ国のNOCの史上最多参加のもと開かれようとしております。オリンピックもプロの参加をふくめ世界最大最強のスポーツのイベントとなりつつあります。外国の選手はほとんどが軍人かステートアマであり、我々日本の様な現態勢では勝つことは不可能になって来たのではないかと思います。私もJOC日本オリンピック委員会常任委員として四期(16年)努めておりますが、今の状況では金メダル数は減るばかりで国がらみで強化対策を立てないと勝てなくなります。共産圏の選手は金メダルを取れば国から一生暮らせるようなまとまったお金や家まで貰え、勲章までも貰えるが、日本は何の保証もありません。人間かマシンか世界のスポーツは限界ギリギリまで来ています。それから今迄は夏冬同年度開催でしたが、これからは2年置きとなります。昨年カルガリーオリンピックの選手団の決団式が東京で行われました。スケートの橋本聖子か黒岩彰、又地元名古屋の伊藤みどり選手の活躍に期待したいものであります。又日本で今1998年今世紀最後の冬のオリンピックを誘致しようと四つの市が立候補をしています。それは旭川、盛岡、山形、長野市です。せひうちの市でと言うことで毎日のように私のところにたくさんの手紙が参ります。1998年と言うと10年も先のことかと思ひますが、その戦の第1関門がこの5月にすでに決るのです。手前ミソで恐縮ですが、私も1976年のモントリオールのオリンピックを始め4年に一度のアジア大会連続3回スイス、メキシコ世界選手権其の他数多くの国際大会に射撃の監督として参加出場を致して参りました。その内11個の金メダルを獲得、銀、銅も同じ数ぐらい取りました。外国の紺碧の空に君が代の演奏と共に日の丸の昇るのを見るのは何ともいえない感激であり実に胸の熱くなる思いが致します。過日ソウルオリンピック妨害の大韓航空機爆発事件、南北の政治的な関係と今後のテロ事件が大変心配されますが、ソウルは実に12年振りに東西両陣営の参加が実現し、米国、ソ連、中国三大国が史上初めて顔をそろえることになるのです。恐らくかつてない白熱した競技やレース、華麗な演技が繰り広げられ、世界新記録が続出することだろうと思ひます。ソウルオリンピックの成功と日本選手団の健闘を祈るものであります。

◇例会変更のお知らせ

名古屋守山RC 2/27(土)創立記念例会の為、  
2/29(月)PM 5:30より

◇次回例会(2月16日)

講演 “人や景に風のように出会えたら”  
各務企画代表

各務 訓子 さん (紹介 新美君)